

令和7年度第5回別府市人権教育学級

- 1 日 時 令和7年10月9日（木曜日） 14時～15時50分
- 2 場 所 別府市社会福祉会館 多目的大広間
- 3 テーマ 「高齢者の人権」
- 4 演 題 「老いをみつめる～“老い”をみつめると、“今”がちょっと変わる～」
- 5 講 師 大分県人権教育・啓発推進協議会 人権啓発講師 雪松 太樹 氏

【講師プロフィール】

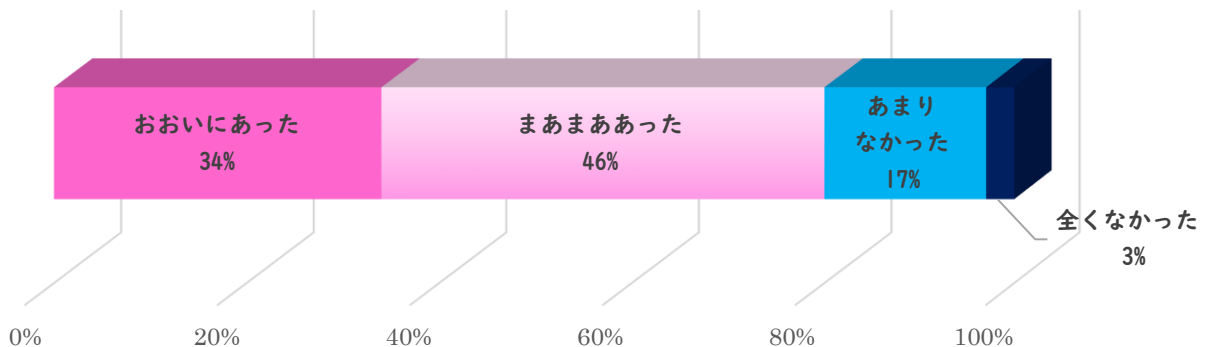
- ・介護福祉士として、介護に携わる仕事をスタート
- ・約20年社会福祉関係の仕事に従事
- ・大分県人権教育・啓発推進協議会 人権啓発講師としても活躍
- ・現在は外国人支援等の仕事にも従事

6 講演内容

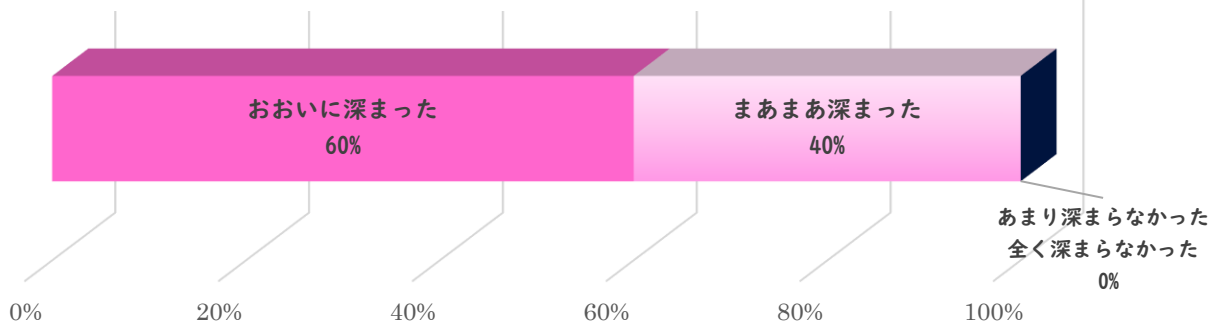
- | | |
|---------------|-----------------------|
| ① 歳を重ねるということ | ⑤ 社会参加の大切さ |
| ② 人権とは | ⑥ 元気なうちに考える「わたしのこれから」 |
| ③ 高齢者の人権を守る法律 | ⑦ 地域と私たちの役割 |
| ④ 高齢者の生活課題 | ⑧ 認知症への新しい視点 |

7 参加者意識調査

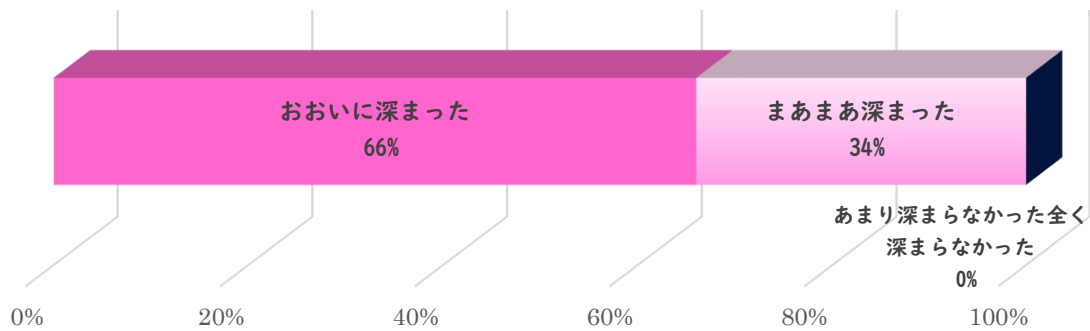
（1）今回の講座に参加する以前に、人権問題について、どのくらい関心がありましたか。



（2）今回の講座に参加して、人権問題について、関心が深まりましたか。



(3) 今回の講座に参加して、高齢者の人権問題について、理解が深まりましたか。



8 学習会の様子



〈はじめの会の様子〉



〈講師 雪松太樹氏〉



〈講演の様子〉

9 参加者の感想

- 老後に関しては、漠然と考えることしかしていなかったもので、一度しっかりと考えなくてはいけないと思いました。職務上老人と関わる人が多いので高齢者について理解しているつもりでしたが、高齢者の人権について考えることが大切だと思いました。
- 子育てをしていると、なかなか毎日の幸せについて考える時間がありません。「マイクロハピネス」ととても良い言葉ですね。本当にありがとうございました。
- 「老化を他人のことではなく自分のこととして考える」「自分や家族の将来として考えること」の大切さについて学ばせていただきました。「高齢の方へどう接していくか」「自分が高齢になった時にどう接してもらいたいと思うのか」についても、考える機会となりました。高齢者の身体や心の変化に寄り添い配慮し、将来の自分も健康に過ごせるよう留意したい。
- 非常に聴きやすい説明で分かりやすかったです。身近なテーマで誰もが直面する問題で、改めて考えてみるべきだと思いました。
- 老いは自然なことであり健康面や体力面での心配はありますが、日々小さな幸せを見つけ、人生を楽しく生きていきます。大変勉強になりました。ありがとうございました。
- とても良い講座でしたので、家族や周りの方々にお伝えしたいと思いました。ありがとうございました。
- 小さな幸せを見つけるマイクロハピネスを毎日したいと思いました。また、老いはいつか必ず当事者となるということを心に留めておきたいと思いました。大変良い勉強になりました。
- 老いからではなく老いる前から、老後について考えておく必要があると感じました。先生の体験談はとても参考になり、参加して良かったです。自分の子育てや親の介護について、考え方も少し変われる気がします。ありがとうございました。